

### 3. 多伎町でいちじくの専業を目指すには

いちじくだけで専業を行うことは不可能です。従って専業を目指すには他の作物と組み合わせる必要があります。例えばアスパラガスなどいちじくと労働時間が競合しない作物と上手く組み合わせることが必要です。

アスパラガスの月別労働時間（10aあたり）（単位：時間）

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
作業体系		◇											
作業名			■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	33.0	13.0	83.0	125.0	108.0	87.0	96.0	111.0	83.0	54.0	7.0	36.0	836.0

#### (1) モデル1：単身で行う場合

- ・総所得目標＝224万円以上
  - ・総労働時間＝2,000時間以下
- を前提に組み合わせたものです。

いちじくとアスパラガスの収穫期が一部重なる時期(9～10月)があるので、雇用が必要になるかもしれません。

区分	いちじく	アスパラガス
栽培面積 (a)	15	12
部門別所得 (円)	712,359	1,747,171
総所得 (円)	2,459,530	
部門別労働時間 (hr)	504	820
総労働時間 (hr)	1,324	

#### (2) モデル2：夫婦で行う場合

いちじく+デラウェア (夫婦)

- ・総所得目標＝400万円以上を前提に組み合わせたものです。

2名で作業を行った場合は、1名の時よりも作業効率が良くなるので、モデル以上の栽培面積が可能かもしれません。

区分	いちじく	アスパラガス
栽培面積 (a)	30	20
部門別所得 (円)	1,424,718	2,911,952
総所得 (円)	4,336,670	
部門別労働時間 (hr)	1,008	1,366
総労働時間 (hr)	2,374	

問い合わせ先

島根県東部農林振興センター 出雲事務所 0853-30-5593

出雲市農業振興課 農業支援センター 0853-21-6122

## 多伎いちじく栽培のご紹介

【令和2年度版】



～～ 多伎いちじく栽培農家からのメッセージ ～～

- ・私たちの多伎町は、いちじく栽培に適した土地柄で、「多伎いちじく」は全国的なブランド力を持ち、日本一高い価格で取引されています。
- ・現在多伎町では83名がいちじく栽培を行っています。昨年「リース団地事業」により新しく圃場を造成し、2名の方が仲間に加わりました。
- ・あなたも私たちと一緒に「多伎いちじく」を作ってみませんか。ぜひ一度いちじく栽培を体験して見てください。私たちいちじく栽培農家全員が応援します。

## 1. 多伎町といちじくについて

多伎町は出雲市の最西端の町で、日本海に沈む美しい夕日が映える海辺の町です。

出雲市の人口は 2020 年 4 月現在で 174,881 人、うち多伎町は 3,336 人です。



美しい海岸線を活かし、道の駅キララ多伎などの交流施設や、いちじく温泉、マリントラソ出雲、キララコテージなどの保養施設、また見晴らしの丘公園や手引きヶ丘公園などが整備されています。



多伎町は海が近く、また日本海側としては比較的温暖な気候に恵まれています。

いちじくは亜熱帯系の植物で温暖な気候を好むため、多伎町の気候はいちじくの栽培にとっても適しています。

多伎町では古くから家庭果樹として庭先でいちじくが栽培されていました。品種は「蓬萊柿」で、昭和 45 年頃から水田転作作物として奨励作物に取り上げられ、現在では「島根県の顔」としてブランド化に成功しています。ちなみにいちじくは植栽 3 年目から収穫が出来、5 年目には成木となります。樹の寿命はおおむね 20 年位です。



(落葉後のいちじく)



(生育期のいちじく)

## 2. 多伎いちじくの特徴

日本で栽培されているいちじくは、大きく分けて「ドーフィン」と「<sup>ほうらいし</sup>蓬萊柿」の 2 品種です。多伎町で栽培されているのは「蓬萊柿」で、やや小ぶりながら糖度が高いのが特徴です。島根県で栽培されている他の果樹作目と比べて、多伎のいちじくは次のような違いがあります。

### (1) 収益性が高い

いちじくは、果樹の中ではあまり元手がかからなく、手軽に栽培を始められる品目です。また所得率も他の果樹に比べ高く、効率よく稼げる品目です。

### 島根県の主な果樹の経営収支 (10 a あたり)

(単位：円、時間)

作目名	いちじく	デラウェア(普通加温)	西条柿
粗収益 (A)	953,000	2,073,920	564,200
経営費 (B)	522,788	1,618,594	351,003
所得 (C : A - B)	430,212	455,326	213,197
所得率 (C / A)	45.1%	22.0%	37.8%
総労働時間 (D)	336	499	241
1 時間あたり労働所得 (C / D)	1,280	912	885

### (2) 栽培可能面積が小さい

しかし、いちじくは他の果樹に比べ労働時間が偏っているのが欠点です。収穫期の 8 月～10 月の労働時間は 247 時間で、全労働時間の 74% がこの時期に集中しています。さらにいちじくは基本的に午前中に収穫しなければならないため、労働は午前中に集中します。

従って広い面積をこなすことは困難で、1 人ならどんなにがんばっても 20 a 程度が限界です。(ただし収穫期以外の月は時間を持て余すくらい余裕があります。)

### いちじくの月別労働時間 (10 a あたり)

(単位：時間)

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
作業体系				○	---	---	---	---	■	■	■	■	
作業名	○発芽      ×着果始め      ■収穫												
労働時間		30.5	1.0	4.0	11.5	10.5	9.5	25.5	139.0	82.5	4.0	18.0	336.0